

基本方針

4

人・資源・立地を活かし、  
未来を拓く産業の  
まちづくり

# 政策分野 8 観光交流

関連する  
SDGsのゴール

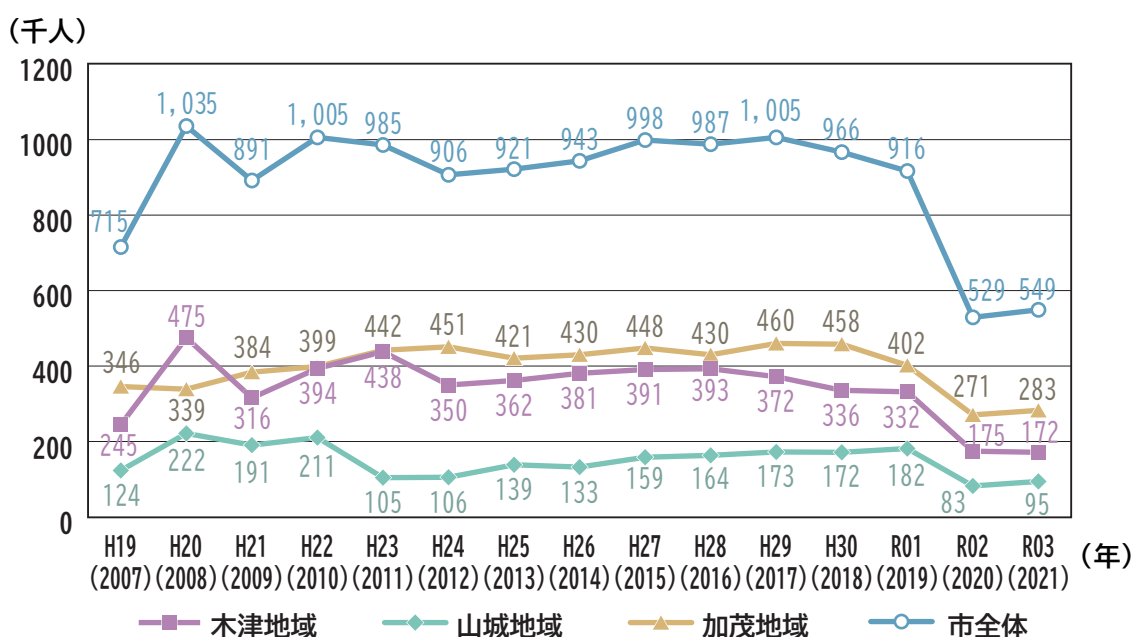


## 方針

- 「お茶の京都」をはじめとするテーマ性・ストーリー性をもたせた資源間のネットワーク、SNS\*など多様な媒体を活用した効果的な情報発信と外国人を含む来訪者の受入体制の充実を図るとともに、周辺自治体とも連携した広域的な周遊型観光戦略を進めます。
- これらの取組みの素材となる文化財をはじめとする地域資源の発掘、現状把握と保存・保全策の充実を図るとともに、地域と一体となって新たな魅力を引き出し、市民のまちへの愛着や誇りを深め、さらには観光交流につなげることによって、関係人口の創出を図ります。
- 国や京都府と連携し、恭仁宮跡の特別史跡昇格を目指す取組みを行うとともに、恭仁宮跡を中心とした京都府南部地域の発展に向けて、歴史と文化を活かしたまちづくりを進めます。

施策：観光振興／文化財の保全・活用

木津川市の観光入込客数



資料：「京都府統計書」(京都府総合政策環境部)

## 背景・課題

木津川市は豊かな文化財や自然、町屋からなる歴史的景観、お茶に代表される特産物などに恵まれ、これらを観光などの地域づくりに活用してきました。新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んでいた観光入込客数は回復してきており、京都・奈良間に位置する強みも活かした訪問者の増加も期待できます。

資源や立地のポテンシャルを今以上に発揮し地域の価値向上や観光誘客に結びつけていくためには、資源間のネットワークを強化して面的な魅力を高めるとともに、積極的なシティプロモーション\*や、インバウンド\*訪日観光も含めた快適な周遊環境整備などが必要です。

## 関連計画

- お茶の京都 木津川市マスタープラン（2015年度策定）
- 当尾地域力創造プラン（2015年度策定）
- 木津川市文化財保存活用地域計画（2023年度策定）



史跡恭仁宮跡（山城国分寺跡）



木津川アート

## 施策① 観光振興

【所管課】観光商工課・まちづくり事業推進室

### I. 観光振興

#### 魅力ある地域資源の活用

- ・ 地域の優れた歴史的遺産や文化的遺産、歴史的に水運を利用してきた木津川を中心とする豊かな自然環境及び農林業などを活用した観光活動を推進するとともに、木津川市と関連性の強い奈良・京都の歴史的遺産、文化的遺産との連携した広域的な観光ルートの充実やインバウンド\*誘客に対応できる観光・交流産業の育成・発展を図ります。
- ・ 観光協会、NPO、ボランティア、ふるさとミュージアム山城などと連携・協働し、観光振興に取り組みます。
- ・ 一般社団法人京都山城地域振興社（お茶の京都DMO）を中心に進められている「やましろ観光」事業と連携・協働し、歴史探訪や自然体験などの広域的な事業への参画を図り、新たな地域の魅力の掘り起こしを進めます。
- ・ 国道24号城陽井手木津川バイパスの整備に関連して、官民連携による「にぎわい拠点施設」整備を進めます。

#### 地域が主体となった観光の推進

- ・ 森林・里地里山を観光レクリエーションや体験型・滞在型学習活動の場として活用するため、森林公園、NPO、ボランティアなどと連携・協働した取組みを推進します。
- ・ 地元の農産物などの活用や、工芸品など特産物の開発を促進するとともに、販売ルートの確立を図ります。
- ・ 市民などの地域間交流及び観光産業・地域産業の振興を図るため、市民協働による祭りやイベントなどの支援を進めます。
- ・ 歴史的な町並みや、地域特産品などの特色を活かした地域づくりと地域の魅力発信に努め、戦略的に観光産業の展開を図ります。

### II. 歴史と自然のネットワークづくり

- ・ 多様な観光関連団体などと連携し、市内に数多く点在する豊かな歴史的遺産、文化的遺産などを活かした観光コースづくりや探訪ツアーの造成に取り組みます。
- ・ 外国人観光客に対応した観光案内板やまちかど観光案内所の充実に努め、多言語対応パンフレットなどを活用し、観光地に訪れる市民や観光客の快適性の向上に取り組みます。
- ・ 現代アートの活用やクリエイター\*と連携し、市内の各地域の魅力を発見・発信します。

### III. 旧奈良街道や大仏鉄道の活用

- 山背古道を活用したウォーキング事業や、沿線周辺の店舗などと連携し、地域の魅力を伝える取組みを進めます。
- 奈良市や関係団体と連携しながら、ウォーキングルートである大仏鉄道遺構めぐりを観光資源として活用し、まちへの愛着づくりや魅力発信を進めます。

#### 成果指標

指標項目	現況値 (2022年度末)	目標値 (2028年度末)
木津川市を訪れた観光客数	641,207人	1,000,000人
観光消費額	2,167,845千円	2,500,000千円
観光ボランティアガイドの登録者数(累計)	91人	100人
まちかど観光案内所数	82か所	92か所

## 施策② 文化財の保全・活用

【所管課】観光商工課・文化財保護課

### I. 歴史的・文化的遺産の保全と活用

- ・ 史跡恭仁宮跡を、観光スポットや歴史学習の場として活用するため、整備に向けた取組みを京都府と連携し進めるとともに、必要な史跡指定地の公有化を推進します。
- ・ 第一次整備の完了した史跡高麗寺跡の適正な維持と活用を推進します。
- ・ 史跡椿井大塚山古墳の防災施設整備を進めるとともに、今後の活用整備内容を検討します。
- ・ 史跡奈良山瓦窯跡と史跡神雄寺跡の保全と環境整備に向け取り組みます。
- ・ 文化財保存活用地域計画の推進実行体制を整備し、地域総がかりでの文化財保存活用の取組みを推進します。
- ・ 国宝を含む国指定文化財、府指定等文化財及び市指定文化財はもとより、未指定文化財も含め、後世に継承すべき文化財の保全に努めます。
- ・ 発掘調査による出土品をはじめとする市所有文化財や関連資料の適切な保管と、見学者や貸出への対応など活用の利便性向上のため、施設整備による資料の集約化を図ります。
- ・ 当尾地区の石仏群を安全に散策できるよう、危険木除去などの取組みを継続し、観光ルートの整備や景観維持に努めます。

### II. 市民との連携による歴史学習の推進と文化財の公開

- ・ 文化財保存活用地域計画に基づき、文化財所有者や愛護団体など、関係者による計画推進実行委員会を組織し、学習活動や情報発信に取り組むことによって、市民のふるさとに対する誇りと郷土愛の向上に努めます。

#### 成果指標

指標項目	現況値 (2022年度末)	目標値 (2028年度末)
文化財啓発事業への参加者数（累計）	172人	5,000人
史跡恭仁宮跡公有化率	54.5%	60%

# 政策分野 9 産業・雇用

関連する  
SDGsのゴール

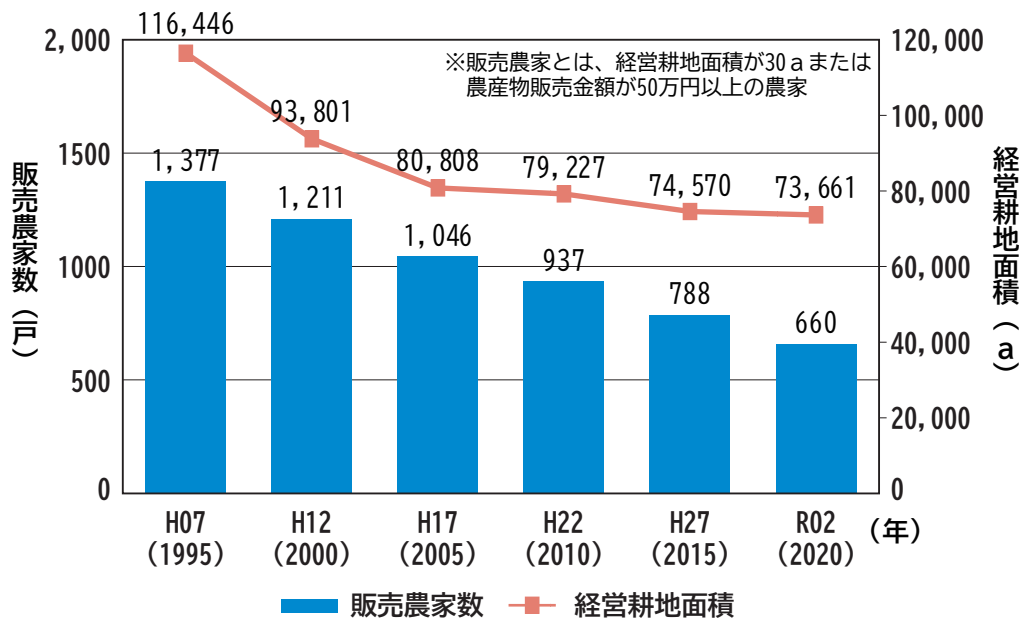


## 方針

- 市内農産物のブランド化、6次産業化\*への取組み支援、他産業との連携強化により、農業の魅力や生産性を高めるとともに、市外への販路拡大、市内の農産品ブランドの認知向上、地産地消を推進し、また多様な担い手の確保・育成を図ることで、農地の持つ、水源の涵養や自然環境の保全、良好な景観の形成などの多面的機能を維持し、持続可能な農業の実現を目指します。
- 地域の商工業を活性化し、地域経済の成長と雇用創出を図るため、産業競争力の強化、ものづくり企業との連携、地域商社をはじめとするコミュニティビジネス\*の推進、企業誘致の推進に取り組みます。

施策：農林業／商工業／雇用・労働環境

販売農家数及び経営耕地面積の推移



資料：「農林業センサス」(農林水産省)

## 背景・課題

農業や商工業などの地域産業は、生産性の低下や後継者不足により、維持・継承することが難しい状況ですが、大消費地に近い強みを有しており、さらにコロナ禍でテレワーク\*など場所を問わない働き方が進展し、地方への関心が高まるなど、働き方に関する意識や環境が大きく変わりつつあります。

これらの状況を踏まえて、市内での創業者支援や産業の振興・活性化、若者や女性など多様な人材の雇用の確保が求められています。

## 関連計画

- 木津川農業振興地域整備計画（2014 年度改定）
- 木津川市森林整備計画（2023 ～ 2032 年度）
- 木津川市鳥獣被害防止計画（2023 ～ 2025 年度）
- お茶の京都木津川市マスタープラン（2015 年度策定）
- 相楽地域商業ガイドライン（2022 年 6 月改正）
- 中小企業等経営強化法に基づく導入促進基本計画（2023 ～ 2025 年度）
- 木津川市創業支援事業計画（2016 年度策定）



木津川市農で頑張る協議会



メーカーフェア  
(けいはんなオープンイノベーションセンター)



## 施策① 農林業

【所管課】農政課

### I. 安定した付加価値の高い農業の振興

#### 農業経営の安定対策

- ・ 農業の経営感覚に優れた人材を確保・育成していくため、JAや関係機関と連携し、経営コストの削減や収益の向上などを目的とした各種研修会や意見交換会などの開催に向けた取組みを進めます。また、女性の経営参画への意識醸成、機会づくりなどの支援を進めます。
- ・ 農業機械の共同利用や農家グループによる作業受託組織の設立などの支援を進めます。
- ・ 営農基盤づくりのため、ほ場整備、かんがい排水施設\*整備、老朽ため池の改修など、農業生産基盤整備を計画的に進めます。
- ・ 遊休農地や不作付地の解消・発生防止及び農業施設の長寿命化を目的とし、農業などの担い手に集中する水路・農道などの管理を地域で支え、農地集積にかかる活動を支援します。
- ・ 化学農薬や化学肥料の低減など有機農業\*の取組みを推進します。
- ・ 農業の省力化やスマート化となる農機具のレンタル制度の創設など、農業者の負担軽減の取組みを検討します。

#### 担い手育成支援

- ・ 担い手不足の解消のため、JAや関係機関と連携し、農業技術者研修や営農指導の充実に努めます。
- ・ 遊休農地や不作付地を増やさないために、地域計画で定めた地域の課題解決に向けた担い手の確保や遊休農地の発生防止・解消に向けた各種の取組みを支援します。
- ・ 意欲ある新規就農者などに対し、就農段階における具体的なニーズに対応したきめ細かな支援を実施するとともに、各ステージに応じた的確な支援が受けられるよう国・京都府などの支援策を周知するなど、関係機関が連携してサポートします。

#### ブランド農産物の推進

- ・ 地域特性を活かした伝統野菜の産地形成を進めながら、新たな農産物の開発や付加価値化を推進するとともに、農業者などによる市内農産物のブランド化に向けた事業を支援します。
- ・ 市内農業者、経営者、学識者、一般消費者、クリエイター\*などで組織する「木津川市農で頑張る協議会」と連携し、6次産業化\*などを通じて、木津川市の農産物にさらなる付加価値を生み出していく取組みを支援します。

#### 茶業の振興

- ・ 茶生産者の育成を図るため、優良茶園づくり、優良品種の導入、茶品評会の出品に対する

総

論

基本  
構  
想

基本  
計  
画

基本  
方  
針  
1

基本  
方  
針  
2

基本  
方  
針  
3

基本  
方  
針  
4

基本  
方  
針  
5

基本  
方  
針  
6

基本  
方  
針  
7

資

料

支援、また新規就業希望者への研修などを図ります。

- ・ 茶業の振興を図るため、「お茶の京都木津川市マスタープラン」に基づき、戦略的な拠点づくりや、お茶をテーマとした広域観光・地域活性化にかかる「お茶の京都DMO」事業などとの連携をさらに進めます。

## 地産地消の推進

- ・ 市内農産物の直売所の設置に向けた支援や学校給食との連携、観光商工団体の協力などにより、地産地消を推進します。
- ・ 市民に木津川市産食材の消費を促し、フードマイレージ\*縮減による環境負荷低減に努めながら、地域における豊かな食文化の創造と発展を目指します。

## 鳥獣被害対策

- ・ 有害鳥獣\*などによる農作物への被害を防止するため、京都府などと連携し、被害の実態調査、研究、生息個体数の適正な管理、防除施設の設置を支援します。
- ・ 狩猟者の高齢化による担い手不足を解消するため、狩猟免許取得助成や狩猟事故に対応した共済への加入助成などの担い手確保に向けた取組みを強化します。
- ・ 地域ぐるみの防除活動について、先進地事例の紹介をはじめとした各種支援を実施します。
- ・ 民間の食肉処理加工施設と連携し、ジビエ\*の活用と捕獲活動の活発化を推進します。

## II. 豊かな里山づくりへの林業の振興

- ・ 森林整備計画に基づき、森林資源の保全など、地域の特性に応じた林業振興施策を推進します。
- ・ 森林組合、NPO、ボランティアなどと協働し、放置竹林や松枯れ及びナラ枯れ対策など、森林の保全を図ります。
- ・ 森林環境譲与税を活用した森林経営管理制度や京都府豊かな森を育てる府民税などを活用し、森林の整備や保全、森林資源の循環利用を進めるための取組みを進めます。

### 成果指標

指標項目	現況値 (2022年度末)	目標値 (2028年度末)
地域計画(京力農場プラン)の作成地域数(累計)	0地域	8地域
市内農産物直売所数	12か所	15か所

## 施策② 商工業

【所管課】観光商工課

### I. 商工業の活性化

- ・ 快適で利便性の高い商工業環境の整備や各種税制優遇などによるスタートアップ\*の推進、商業の経営基盤の強化などを進め、産業競争力を強化します。
- ・ 便利でにぎわいのある中心都市拠点を目指すとともに、加茂・山城地域の都市拠点において、商業・業務機能の充実を図り、活力あるまちづくりを進めます。

### II. 企業の振興及び連携強化

- ・ ものづくり企業が生産現場を公開し、来場者にもものづくり工程や技術を体験してもらう機会を創出することで、市内企業の振興及び連携強化を図ります。

### III. 伝統産業の支援及びコミュニティビジネス\*の推進

- ・ 伝統産業の支援・振興を図るとともに、地域の特産品や伝統工芸品などの調査を行い、地場産品を用いた商品の企画・開発を行います。
- ・ 地域の活性化を目的に、地域商社をはじめとするコミュニティビジネスの取組みを推進します。

### IV. 企業誘致の推進

- ・ 京都府や関係機関などと連携し、周辺環境に配慮した企業の誘致活動を展開します。
- ・ 景気動向や企業の立地需要に応じた土地利用の規制緩和や整備手法を検討します。

#### 成果指標

指標項目	現況値 (2022年度末)	目標値 (2028年度末)
産業競争力強化支援事業利用件数	92件	120件
ものづくり企業による体験会実施回数	18回	20回
ご当地商品の企画・開発	3件	24件

## 施策③ 雇用・労働環境

【所管課】観光商工課

### I. 創業支援・雇用対策の充実

#### 雇用の場の確保

- ・雇用吸収力の高い企業の誘致や、既存企業の活力向上などの支援に取り組み、魅力ある雇用の場の確保に努めます。

#### 就業支援対策の強化

- ・関係機関と連携し、アフターコロナや人材不足の影響を注視しつつ、雇用創出などのイベント開催を検討するとともに、イベントや市内企業の情報発信を行い地元雇用につなげます。

#### 創業支援の充実

- ・木津川市商工会や各創業支援機関と連携し、創業セミナーや個別相談のほか、創業後の支援など、創業支援を継続します。

### II. 多様な働き方を選択できる環境づくり

- ・労働者不足が深刻化するなか、事業所の労働者の離職を防止し、事業所運営を安定する目的のために、国や府などと連携してフレックスタイム制\*やテレワーク\*などの多様な働き方を推進します。

#### 成果指標

指標項目	現況値 (2022年度末)	目標値 (2028年度末)
市内誘致企業における市民雇用者数	1,279人	1,300人
特定創業支援事業にかかる証明書交付者数	55人	70人

# 政策分野 10 関西文化学術研究都市\*

関連する  
SDGsのゴール



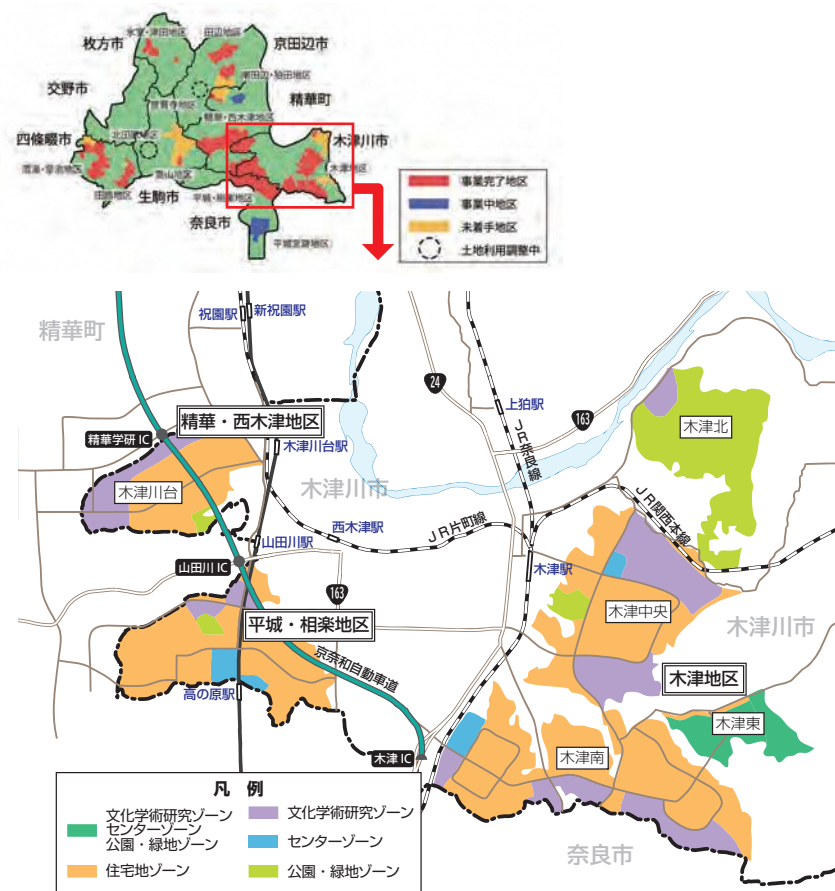
総論  
基本構想  
基本計画  
基本方針1  
基本方針2  
基本方針3  
基本方針4  
基本方針5  
基本方針6  
基本方針7  
資料

## 方針

- 未整備クラスターの整備や学研地区への企業・研究所の誘致を引き続き進め、土地の有効活用を図ります。
- 市外の学研地区も含めた立地企業・大学と市内商工業者間の連携を図り、最先端の学術研究や科学技術などの成果を活用することで、既存産業の再生・活性化や新規産業の創出を図り雇用を促進します。
- 関西文化学術研究都市にふさわしい市街地、景観などを整備するとともに、その成果を周辺地域にも波及させることで、木津川市の都市的な魅力・価値を高めます。

### 施策：関西文化学術研究都市の活用

けいはんな学研都市 各クラスターの整備状況（令和5（2023）年4月現在）



出典：公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構

出典：関西文化学術研究都市（京都府域）の建設に関する計画（京都府）

## 背景・課題

文化・学術・研究の拠点としての役割を担う学研地区の基盤が整備され、企業・研究所などの立地が進み、都市は成熟段階に向かいつつあります。これら先端的な知の集積ともいえる施設群が持つ機能や活動の成果、情報発信力などを地域の産業をはじめ文化や生活にも活かすことで、産業の活性化のみならずまちづくりにつなげていくことが求められています。

一方、都市づくりの経年に伴う人口減少などの課題も発生しており、形成してきた都市ストックを将来にわたり持続的に発展させる取組みも必要です。

## 関連計画

- 木津川市学研木津北・東地区土地利用計画（2012年2月策定）
- 生物多様性第2次木津川市地域連携保全活動計画  
～みもろつく鹿背山再生プラン～（2024～2033年度）



けいはんなロボット教室



学研木津東地区

# 施策① 関西文化学術研究都市\*の活用

【所管課】学研企画課・観光商工課・都市計画課

## I. 関西文化学術研究都市の整備促進

### 個性ある都市景観の形成

- ・ 自然と生活の調和や都市的交流の場を創出し、未来を拓く知の創造都市にふさわしい緑と生活のある街並みの形成を進め、関西文化学術研究都市の個性ある都市景観の形成に努めます。

### 関西文化学術研究都市機能の充実

- ・ 関西文化学術研究都市の中核を担う自治体として、大学などの文化学術研究施設や研究開発型産業施設\*の立地を推進するなど、その都市形成と機能充実を促進します。
- ・ 関西文化学術研究都市の魅力を高めるため、構成自治体や関係機関などとの産学官連携を進め、情報発信を図ります。
- ・ 大阪・関西万博と連携した「けいはんな万博 2025」に向け、関係団体とともに取組みを推進します。また、イノベーション創出する都市づくりをはじめ、スマートシティ\*実現に向けた取組みを関係機関と連携して推進します。

### 学研木津北地区

- ・ 学研木津北地区では、木津川市の里地里山景観のシンボル性や歴史的重要性を考慮し、生物多様性第2次木津川市地域連携保全活動計画に基づき、地域づくりや地域振興の資源として、里地里山保全を図るとともに、各種団体や市民参加による里地里山保全活動を支援します。

### 学研木津東地区

- ・ 学研木津東地区では、主として、文化学術研究施設や研究開発型産業施設などの集積を図る区域（文化学術研究ゾーン）などとするとともに、良好な環境の創出を誘導するエリアとして柔軟に土地利用を検討します。
- ・ 学研都市の知の集積を活用して新たな産業の創出を支援します。

### 平城・相楽地区

- ・ 平城・相楽ニュータウンの高齢化や人口減少に対応するため、奈良市及び精華町などと連携し、近鉄高の原駅前広場再整備などによる地域活性化を図り、まちの魅力を次代に継承し、持続的な発展を目指します。
- ・ ハイタッチ・リサーチパークでは、研究開発型産業施設などの立地による新たな事業展開や地区の活性化を促進します。

## 都市的サービス機能\*の充実

- ・ 関西文化学術研究都市のセンターゾーンにおいて、商業核\*などの都市的サービス機能の充実に推進します。
- ・ 学研都市の知の集積を活用して新たな産業の創出を支援します。

## II. 関西文化学術研究都市との連携

### 新しい価値の創造

- ・ 多様化する地域課題に対応するため、関西文化学術研究都市における教育・産業・医療・福祉・交通などの各分野の最先端技術と、情報が集まる知の集積である大学・研究機関・企業との連携・協働による取組みを推進します。
- ・ 「世界トップレベルの研究開発型オープンイノベーション拠点」の形成を目指す「新たな都市創造プラン」を推進するとともに、関係機関との連携・協働を進めます。

### 研究成果を活用したまちづくり

- ・ 学研地区内に立地する京都大学大学院農学研究科附属農場や同志社大学（学研都市キャンパス）をはじめとする大学・研究機関・企業のマッチングなどに取り組みます。
- ・ 各関係機関と連携を図り、農業をはじめとする木津川市の産業・ビジネスなどへの有効活用できる取組みを推進します。

### 新たな文化の創造

- ・ 関西文化学術研究都市の先進的な研究活動やまちづくりを活かした多様なイベント開催などを通じて、新しい地域文化の創造活動を支援します。

### 新産業・新事業の創出

- ・ 地域経済の活性化や雇用の創出を図るため、新産業創出交流センターと連携し、研究所や研究開発型産業施設などの集積を活かした新産業・新事業の創出を目指します。
- ・ 新産業創出交流センター主催のフォーラムや商談・展示会などにおいて、関西文化学術研究都市をPRするなど、さらなる企業立地を促進します。
- ・ 立地企業等懇談会など、立地企業間の交流を図り、新事業の創出や企業間連携を促進します。
- ・ 最先端の研究成果を活かしたイベントを開催し、新事業創出や企業間連携を促進するとともに、次代を担うこども世代の意識づくりに結びつけます。



## 成果指標

指標項目	現況値 (2022 年度末)	目標値 (2028 年度末)
学研地区内の誘致事業所数	36 事業所	40 事業所
里地里山保全活動参加者数	3,938 人	4,000 人
関西文化学術研究都市での実証実験件数（累計）	0 件	5 件

総

論

基本  
構想

基本  
計画

基本  
方針 1

基本  
方針 2

基本  
方針 3

基本  
方針 4

基本  
方針 5

基本  
方針 6

基本  
方針 7

資

料